



No. 158 2025.9
(株) よかネット

NETWORK

中山間地域の活性化に向けて

島根県飯南町谷地区・奥出雲町三沢地区の取組を学ぶ 2

生成 AI とサステナビリティ その1 - 生み出す新たな問題 - 5

地域ゼミ報告

「地域コミュニティ協議会制度の到達点とこれから」 7

皆様から寄せられた「よかネット」へのご意見、近況などの紹介... 9

近況

人生初の万博～空飛ぶクルマの未来を思う 10

Google マップにおける大阪万博内の各パビリオンへの
投稿集積と評価 11

近そうで遠い大阪万博 13

芸人のプロの技を見た 14

近所にシェアスペースができました 14

猫好きの外国観光客が訪ねてくる喫茶店 ～百貨蔵～ 15

透明性の錯覚 16

表紙解説・表紙補足 16

BOOKS 17

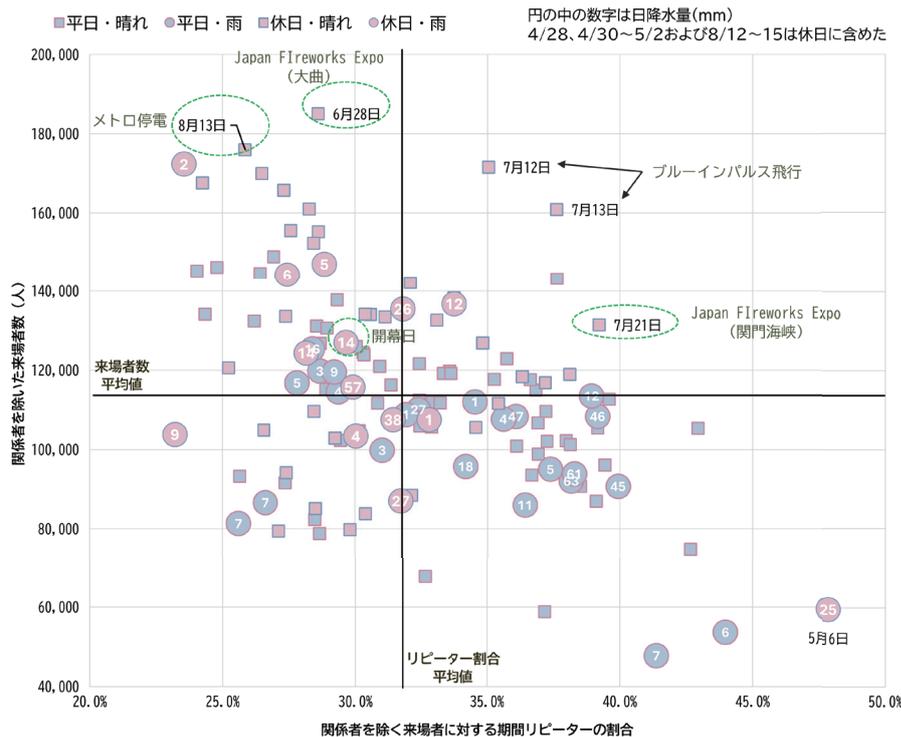
●大阪関西万博の来訪状況

現在、大阪市夢洲で開催されている大阪・関西万博（以下、万博）は、会期の半分が経過し、累計来場者数が1,500万人を超える多くの人々が来訪しています。当社では、6月28日に研修旅行で万博を訪問しました。

そこで、今までの万博の入込状況を見るために、GPS人流調査ツール「KDDI Location Analyzer」を用いて、万博会場に15分以上滞在した人を「来訪者」と定義し、日別の来訪者数及び来訪者に対する期間リピーター比率を集計し、平日・祝休日、天候、降水量、イベント等による相関関係を調べてみました。

初めて来訪する人の割合は、晴れの日の休日が多く、来訪者総数も多い。要因として、連休等を利用した遠方からの人が増えたと考えられます。一方、平日は、複数回訪問するリピーターの割合が高く、特に雨の日はその傾向が強く表れます。万博終了後、これらの傾向がどう変化しているか楽しみなところです。

万博会場の日別来訪者数・リピーター来訪割合の相関関係



※分析条件等の詳細については、表紙解説をご覧ください。

データソース：
KDDI Location Analyzer

出典（気象情報）：
気象庁（過去の天気）

中山間地域の活性化に向けて

～島根県飯南町谷地区・奥出雲町三沢地区の取組を学ぶ～

山崎 裕行

当社では、昨年度からご縁をいただいて東峰村における地域コミュニティ協議会設立に向けたお手伝いをしてい

る。東峰村では、令和2年から地域コミュニティ協議会設立に向けた取組を進めていたが、令和5年7月豪雨や新型コロナウイルス感染症の影響から中断せざるをえず、昨年度より改めて安心して暮らしていくために村民と村職員とが共に話し合いを進めている。

取組を進めていく上で東峰村は、中山間地域の活性化に先進的に取り組んでいる島根県中山間地域研究センターの東良太氏(企画情報部地域研究科主任研究員)にアドバイスを受けており、当社も東さんと連携して取り組ませてもらっている。今回、島根県内の事例を学ぶために、東さんにコーディネートいただいて飯南町谷地区と、奥出雲町三沢(みざわ)地区を訪問する機会を得た。それぞれの地区の取組について、ご紹介したい。

●島根県における中山間地域活性化の取組概要

事例紹介に入る前に、島根県における中山間地域活性化に向けた取組の概要を「島根県中山間地域活性化計画」に基づいて紹介する。

島根県では、平成11年に議員提案により「島根県中山間地域活性化条例」が制定され、平成13年に1期目の「島根県中山間地域活性化計画」を策定し、この計画に基づき各種施策を展開している。住民同士の話し合いによる地域実践活動が広がる契機となったのは第4期計画(平成28年度～)からで、以降、県内の中山間地域において公民館エリアを基本とする「小さな拠点づくり」を推進している。今回、飯南町役場、奥出雲町役場の方にもお話を聞いたが、「県が旗振り役として推進しているので、市町村としても取り組みやすい環境がある」とのことだった。県内全体で「小さな拠点づくり」を進めており、生活機能の維持・確保のための実践活動に取り組んでいる公民館エリア数は、令和5年度末で154エ

ア(全251エリア)となっている。

第5期計画(令和2年度～)は、特に生活機能の確保が急務な人口規模が小さい公民館エリアにおいて「モデル地区」を選定し、複数の公民館エリアの連携による取組を重点的に支援、第6期計画(令和7年度～)からは、これまでの「小さな拠点づくり」で取り組まれた公民館エリアを基本とした住民の合意形成による地域運営の仕組みづくりを継続しつつ、生活機能の確保に直結する取組については、行政がより関与しながら、旧市町村を基本単位として、生活機能の維持・確保を進めていく、としている。

このように見ると、島根県で小さな拠点づくりが広がっていったポイントとして、1つは、県として中山間地域活性化に取り組んでいたこと、もう1つは、公民館を単位とした社会教育活動が根付いていたことが挙げられそうだ。さらに加えると、県として小さな拠点づくりに対して財政的支援を行っていることも大きいだろう。県では、「中山間地域総合対策推進事業(地域活動の担い手育成、集落支援員への支援等)」や、「中山間地域の生活機能の確保支援(生活に欠かせない機能やサービスを維持・確保するため市町村等が実施する必要な対策を支援)」などの事業を予算化し、市町村の取り組みを後押ししている。もっとも、小規模多機能自治※に取り組む雲南市のように、県の動きよりも前から地域自主組織による地域づくりに取り組んでいるところもある。

※小規模多機能自治の定義

概ね小学校区などの範囲において、あらゆる団体等により構成された地域共同体が、地域実情及び地域課題に応じて住民の福祉を増進するための取組を行うこと(出所:CANPANプロジェクトHP内、小規模多機能自治推進ネットワーク会議の「団体の概要」より筆者作成)

●飯南町谷地区の取組

事例の1つ目、飯南町谷地区は、元々は村であったことから、地区としてのまとまりの強い地区であ



谷未来ビジョン 出所：視察資料

る。視察では、地域おこし協力隊の方に谷地区の取組についてうかがった。以下、簡単ではあるが紹介したい。

①地区の特性・活動経緯

- ・令和7年の住民基本台帳人口は17人、高齢化率55.6%。人口は減少傾向にあり、小学校の閉校は平成17年だったが最後の卒業生は1人、現在も小学生、中学生、高校生は指で数えられる程度しかいない。
- ・地区内には郵便局、公民館、出張診療所（隔週1回）等がある。
- ・平成16年に谷自治振興会が発足。前身の谷振興会の時から様々な住民活動を展開。
- ・小学校閉校に際して、校舎を地域の拠点にしたいという住民の声が集まり、改修・修繕を経て、平成22年から「谷笑楽校」として谷自治振興会は指定管理を受託している。
- ・令和2年に未来ビジョンを作成（安心して暮らせる、地域の魅力向上、地域産業の振興）し、現在はビジョンに基づいて活動を展開している。

②活動内容

- ・未来ビジョンに基づいて「くらし安心部」「魅力創造部」「なりわい創生部」の3つの部会を中心に活動を行っている。多様な世代が関わられるように、様々な行事やイベントづくり、公民館行事との連携を図っている。

（くらし安心部）

- ・集いの場として毎月1～2回、水ようカフェと



谷笑楽校（旧谷小学校） 出所：いいなんナビ

いうコミュニティカフェを開き毎回テーマを変えて実施しているほか、集落ごとに月1回程度のサロンも開催している。

（魅力創造部）

- ・地域と大学との交流や、伝統文化の継承活動（神楽）のほか、タニマ・デ・シネマ（野外映画会）なども開催している。

（なりわい創生部）

- ・農村環境の維持管理、親子農業体験活動等に取り組んでいる。

この他、自治振興会の活動としては、「住民輸送活動（移動支援の確保）」、「スノーレンジャーたに」がある。

「住民輸送活動」は、谷自治振興会でも全国に先立って、国のモデル事業として最初に取り組んだもので、公共交通機関が不便なために買い物や通院等に困っている住民を助けようと、谷自治振興会のメンバーが運転手を担い、地区内移動やバス停・役場・金融機関等に送迎するもの。車両は、町から提供を受けている。

「スノーレンジャーたに」は、積雪が多い地区のため、高齢化等により自宅前の雪かきが難しい世帯を助けようと、住民が有償ボランティアで雪かきを行う取組である。

③活動していく上でのポイント

- ・地区の課題に対して自分たちで何とかしてきた歴史がある。動ける人が動かし、大変だと言いながら、取り組んでいる。自治振興会の役員も、次の世代のことを考えて前向きな姿勢を持って

やっている。

- ・若い世代、多様な世代がそれぞれの事業に参加している。楽しくやっている、楽しい部分が大大きい。

谷地区の取組を聞いて感じたことは、地域の人が楽しみながらやっているからこそ継続できている、ということである。この点は、町の担当者の方もおっしゃっていて、地域運営組織への支援策として各種補助制度も整え「自分達が楽しくできること」を実現してもらうことで、小さな拠点づくりの推進につながっている、とのことであった。

当然、楽しいばかりではなく、苦勞も多いはずで、人口減少に伴い担い手の負担が大きくなってきており、継続的な自治活動への移行が課題とのことだ。しかし、大変だと言いながらも、次の世代のことを考えて動ける人が動くという関係性ができている点は、地域づくりを進めていく上での重要な要素だと思う。

●奥出雲町三沢地区の取組

事例の2つ目、奥出雲町三沢地区は、奥出雲町の中でも人口規模が一番小さく600人、小学校区単位のまちづくりに取り組まれている。視察では、三沢地区のまちづくりを進められている「みざわ小さな拠点づくりの会」の方と、地域おこし協力隊の方にお話をうかがった。以下、簡単であるが紹介したい。

①地区の特性・活動経緯

- ・令和6年の住民基本台帳人口は568人、高齢化率は46.3%。
- ・令和元年に「みざわ小さな拠点づくりの会」を立ち上げた。地区内には、自治会長会や幼稚園・小学校PTA、福祉振興協議会など様々な団体があったが、地区全体のまちづくりを考える団体はなかった。
- ・取組のきっかけは、三沢地区の全住民を対象としたアンケート結果である。4人に1人が地区内の人に会う機会が「ほとんどない」との回答に衝撃（当たり前にある／田舎の強みと思って「つながり」が失われつつある）を受け、人が出会う、関わる代を増やす取り組みを促進している。



三沢地区の様子



NPO 法人とともが担う移動販売

②活動内容

- ・単発の課題を単発で解決するのではなく繋ぎ合わせることを意識している。例えば、「移動販売×見守り」、「外出支援×楽しみ」、「サロン×買い物」、「アイデア×後押し」という形であり、それらが上手く循環する仕組みを作る。
- ・移動販売は「NPO 法人ととも」と連携し、会のスタッフも関わって見守り活動も合わせて行っている。

③活動していく上でのポイント

- ・若い人や事務局、役員に過度な負担がかからないように、やりたい人・団体が、やれる環境を作っていく。
- ・役員が直接的な手足にならない。コンテンツ開発、人材育成に特化し、仲間がいないならば、仲間と出会う場を作り参加してもらう、場所がないならば、公民館やレンタルスペースを利用してもらう、お金がないならば、チャレンジ応援金事業（地区内で「何かをしたい」という想いを持つ人の背中を押すための助成事業）を

使ってもらおうようにしている。

- ・これまでにチャレンジ応援金事業に応募した団体は地区外の団体も含めて 22 団体である。「やりたい」というモチベーションを三沢地区で試してもらおう。地域資源を作るような動き、地域課題の解決に資するような取り組みをしてもらうことで、結果として、三沢地区の住民満足度を上げている。

三沢地区の取組を聞いて感じたことは、外の力を上手に活用されているということだ。地域活動でよくありがちな役員、事務局、若い人が負担を負うような状況を、例えばチャレンジ応援金事業という仕組みによって、地区外の人・団体でも活動場所が三沢地区であればそのチャレンジを後押し、新たに地域資源を創り出したり、地域課題の解決を図ったりしている。また、NPO や企業との連携も行っており、持続可能な地域運営の1つの形であると思う。「リーダーはコーディネーター役、プレイヤーは外部からでも構わない」という話は、「なるほどな」と思ったところである。

もちろん、元々地域づくりに関心の高い人が多いという地域柄も影響しているだろう。また、若い人

がチャレンジできる環境づくりには、上の世代の理解や後押しも不可欠であり、上の世代の理解を得るために、成果を見せる(=チャレンジによって、まちが盛り上がっていることを実際に見せる)ことをしてきたそうだ。

●おわりに

2つの事例からは、地域づくり(=小さな拠点づくり)に取り組むきっかけは色々あれども、まずは、地域住民自身が「どういう地域にしていきたいのか」、「そのために何をしないといけないのか」を考えることが重要で、その上で、「楽しい」、「やりたい」、「やってみたい」をベースとして、一步踏み出せるかどうかがあり、その一步を踏み出せるように、行政は人的支援、財政的支援、活動拠点となる場所の支援などを行うという関係性が大事と思った。

もう1つは、地域内で完結させようとするのではなく、地域外の力(人、団体、企業、大学など)も活用しながら、地域をよりよくしていく姿勢である。今回視察で学んだことを、東峰村をはじめ、各地域のコミュニティ活動支援に活かしていきたい。

(やまさき ひろゆき)

生成 AI とサステナビリティ

その1 - 生み出す新たな問題 -

畑中 直樹

DXの流れの中で、様々な分野で生成 AI の活用が進んでいます。

しかしながら、この生成 AI にもプラス面とマイナス面があり、2025年4月に発刊された IEA (国際エネルギー機関) のレポート「Energy and AI」では、Energy for AI (データセンター増加に伴うエネルギー供給上の課題等)、AI for Energy (AI がエネルギー分野にもたらす利益) の両面が論じられています。

●エネルギーと水資源の大量消費

ここで特にエネルギーでのマイナス面について具体的にみると、生成 AI は大量の電力を消費し、例えば「チャット GPT」に質問して回答を得る場合、グーグル検索の約 10 倍のエネルギーを消費すると試算

されています。また、冷却方式にもよりますが、現状多く普及している水冷方式の場合、生成 AI に質問を1つ入力する度に、約 2 ㍓の水を消費し、現在アメリカにあるデータセンターで1日に使用される水の量は約 800 万トン(東京都 1,400 万人が一日で使う水道水の量は 450 万トン)とされています。

●日本における予測

環境省の「データセンターによる再生エネルギー利用の促進に関するアニュアルレポート」(2025年3月)によると、日本では再生可能エネルギーを 2040 年に約 200 ~ 300TWh 増やすことを目標にしていますが、これに対してデータセンターの消費電力量は約 45 ~ 80 TWh 増加と、新たに増える再生可能エネルギーの約 15% ~ 40% をデータセンターが消費すると推計

図1：データセンター業のベンチマーク指標・目標

$$\text{ベンチマーク指標} = \frac{\text{データセンターにおけるエネルギー使用量}^{\ast 1} \text{ (kWh)}}{\text{データセンターにおけるIT機器のエネルギー使用量}^{\ast 2} \text{ (kWh)}}$$

ベンチマーク目標（目指すべきベンチマーク指標の値） = 1.4以下

※ 1 対象事業所であるデータセンターが複数ある場合は、それらのデータセンターにおけるエネルギー使用量を合計した値
 ※ 2 対象事業所であるデータセンターが複数ある場合は、それらのデータセンターにおけるIT機器のエネルギー使用量を合計した値

出所：経済産業省資源エネルギー庁「データセンター業のベンチマーク制度 制度の概要」2023年5月

図2：サプライチェーン排出量の概念図



出所：環境省「サプライチェーン排出量 概要資料」2023年3月1日リリース

されています。

●省エネ等の対応

こうした状況に対して省エネ法に基づくベンチマーク制度では、2022年4月、データセンター業がベンチマーク制度の対象業種に追加されました。ベンチマーク制度は、業種ごとの中長期的な省エネの取組の促進を目的とし、業種別に目指すべき省エネの水準（ベンチマーク目標）を、足下で上位1～2割の事業者が満たす水準に定めるものです（図1参照）。

現状のベンチマーク（PUE）1.4以下を満たす水準のエネルギー消費割合は、IT機器そのものが約7割、その他空調などロス系が約3割ですが、近年の優良データセンターではこの指標は1.1～1.2に向上、さらに今後のものは1.0台へと進展しています。

●使用する側のサプライチェーン排出量への反映

近年、事業者自らの排出だけでなく、事業活動に関係するあらゆる排出を合計したGHG排出量（サプライチェーン排出量 = Scope1+Scope2+Scope3）を削減する取組が進みつつあります（図2参照）。

すでに、2023年4月の省エネ法改正により、自

社サーバをデータセンターに預けている場合のサーバ使用電力はScope2にカウントされることになっています。

サプライチェーン排出量については、2025年3月に、民間のサステナビリティ基準委員会（SSBJ）がISSB（国際サステナビリティ基準審議会）をベースに日本版の開示基準を公表し、2027年3月期からプライム上場企業の規模の大きな企業から段階的に基準に基づく有価証券報告書での開示義務化が始まります。

このサプライチェーン排出量においても、今後さらに、生成AI等デジタルサービス利用に起因するScope3排出量増大に焦点があてられることが予測されます。

以上、今回は、まず「生成AIとサステナビリティ」についてその1として「一 生み出す新たな問題」についてご紹介しましたが、今後その2では「一 地域との関わり」について触れたいと考えています。（はたなか なおき）

地域ゼミ報告

「地域コミュニティ協議会制度の到達点
とこれから」

講師：With Labo 貞清潔氏

山崎 裕行

地域ゼミは、当社の業務分野に関連する専門家をお招きして、その分野に関する現状やこれからの展開などをざっくばらんにお話していただくもので、5月に久々の開催となったのでその内容を報告したい。

今回、テーマを「地域コミュニティ協議会制度の到達点とこれから」とした。このテーマを取り上げた理由としては、現在当社で地域コミュニティ協議会設立に向けたお手伝いをしていること、また個人的に自治会活動に参加しており、どこかのタイミングで、総括的な話を聞きたかったこと、各地で地域活動の支援をされている中で、地域コミュニティの現状をどのように捉えられているかを知りたかったことがある。

講師は、当社が地域コミュニティ関係の業務で一緒にしているWith Laboの貞清潔氏にお願いした。貞清さんは、前職（都市計画コンサルタント）の頃から、福岡市内はもとより、福岡県内の各地で地域コミュニティ活動（組織再編や活動の見直し、自主防災活動等）の支援をされており、いわゆる校区単位で形成される地域コミュニティ協議会の立ち上げも福岡市や筑紫野市などで実績を有しておられる。

講演の中で特に興味深かった内容についてご紹介したい。

●そもそも地域コミュニティ組織とは

講演の冒頭、次のような質問を投げかけられた。「そもそも、自治会なのか、町内会なのか、行政区なのかわかっているか」、「自治会と町内会のエリアを知っているか」と。普段、何となく使っている自治会や町内会との言葉だが、実は市町村によって異なる。これに住居表示も組み合わせると、そこに長く住んでいないとわからない場合もある。例えば、住居表示は〇〇1丁目、行政区は△△区、隣組は××町という具合である。〇〇1丁目の〇〇区の〇〇××

町とあれば、まだわかりやすいかもしれないが、そうではないことがある。ちなみに総務省の定義を示していただいた。それによると次のとおりである。

<自治会>

：町又は字の区域その他市町村内の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体（自治会、町内会、町会、区会、区など）

<地域運営組織>

：地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織

<地域自治組織>

：地方自治法等に法定された地域自治区等のような公法人（またはその一組織）

<地域コミュニティ>

：何らかの共通の属性及び仲間意識を持ち、相互にコミュニケーションを行っているような集団（コミュニティ）の中で、共通の生活地域（通学地域、勤務地域を含む）の集団

このように整理すると、実感として自治会の多くは地域運営組織の要素を含んでいると言える。自治会・町内会は、地域経営の指針（＝自治会・町内会の活動方針）のもと、地域の暮らしを守るため（より良くしていくため）、地域内で暮らす人々が中心となって形成し活動している。では、なぜ自治会ではなく、地域コミュニティ協議会があらこちらで組織・検討されているのか。そもそも、地域コミュニティ協議会とは何なのか。貞清さんのお話からは2つの大きな流れがある。

●地域コミュニティの役割の変化

1つは、戦後の自治会・町内会の流れである。そもそも自治会・町内会に類する組織は、遠く大化の改新の五保制度に源があり（出典：昭和19年町内会部落会ニ関スル資料）、徳川時代には五人組制度として、また戦前は行政の下部的補助組織、戦中は軍国主義を支える末端組織としての役割があり、戦後はGHQにより廃止されたものの、防犯協会や防火協会として残っていった。ポツダム宣言失効後は、自

治的な組織として復活し、多くの地域で自治会・町内会会長を非常勤特別職に委嘱し、行政事務を委嘱してきた。自治的な組織でありつつも、行政事務の一部を担う組織としての役割を有していた。しかし、加入者の減少や役員の担い手不足から、その役割を果たせなくなりつつある。行政事務にかかる役割は自治会に担わせつつも、その他の地域運営（＝自治）の部分に補う組織としての流れである。

もう1つは、昭和44年の国民生活審議会調査部会報告にあるように、戦後復興、高度経済成長を経て都市化が進む中で地域共同体の「伝統型住民層」（自治会・町内会）が崩壊したことを受けて、「市民型住民層」に指示を受ける組織（＝コミュニティ）としての流れである。同報告は、コミュニティを「生活の場において、市民としての自主性と責任を自覚した個人及び家庭を構成主体として、地域性と各種の共通目標を持った、開放的でしかも構成員相互に信頼感のある集団」と定義している。同報告を踏まえて、昭和46年以降、モデル・コミュニティ地区の取り組み、①概ね小学校の通学区域程度の規模を基準、②コミュニティ整備計画を策定し、コミュニティの施設の整備、③コミュニティ活動に関する計画を定めるといった条件のもと試行されることになる。これらの条件は、今、各地で進められている地域コミュニティ協議会制度の枠組みと大きく変わらない。

この流れを下地としつつ、「協働」や「新しい公共」「地方分権」といった概念が加わったり、「コミュニティ・スクール」や「地域共生社会・地域包括ケアシステム」「小さな拠点」などの取組が重なってきたりし、近年は「自治の確立」の段階から、地域の未来を様々な主体と共に創る「共創」の段階を指向する動きも生まれている。

全国の問題として、かつては、ほぼ強制的に加入し、行政の下部組織としての役割を果たしていた自治会・町内会が、ライフスタイルや価値観の多様化に伴って加入率が低下し、また、担い手も高齢化、減少して存続の危機に立たされる状況が生じている。このような状況に対して、行政事務の一部を自治会・町内会に残しつつ、その他の自治に関する部分を補う手段として地域コミュニティ協議会を作っ

た流れがあることが、貞清さんのお話から浮かび上がってくる。しかし、自治会・町内会と、地域コミュニティ協議会とでは、これまで見てきたように、そもそもの成り立ちや目的が異なる。それ故に、住民はもとより、行政職員も加わって、これからの地域のために、どのような組織体が求められるのか、丁寧に話し合い、その地域に応じた形を模索することが重要だろう。

●地域コミュニティのこれから

これからの地域コミュニティを考える上で、貞清さんは、5つの前提条件を示された。1つ目は、「自治会に加入するのは当たり前」ではない社会になっていること、2つ目に、「みんな無関心ではないこと」、3つ目に、「組織や活動を知られているか、開かれているかということ」、4つ目に、「地域≠自治会・町内会ではないこと」、5つ目に、「興味」「関心」から「参加・協力」「参画」そして「担い手」へという流れがあること」である。

実際に、福岡市の地域コミュニティに関する市民意識調査結果を紹介していただいたが、地域活動に対して誰もが関心がないわけではなく、若い人も女性も関心を持っている人はいるのだ。

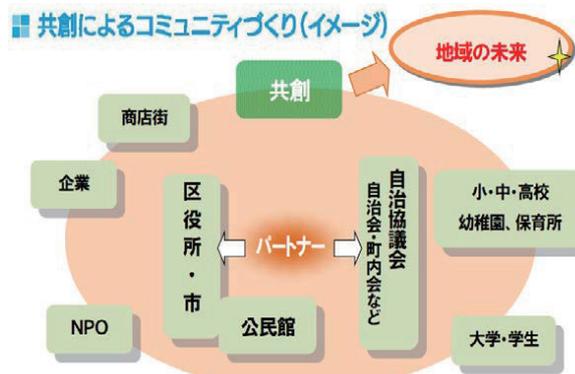
では、なぜ参加しないのか。前例踏襲主義的なやり方や、閉鎖的な運営への嫌悪感、連絡先や加入方法がわからない、活動が知られていない等があるかもしれない。あるいは、「自治会・町内会活動は大変」「めんどくさい」「やらない方がよい」というような声を聞くからかもしれない。

貞清さんのお話を聞きながら、地域コミュニティの活性化に向けては、担い手不足や加入率の低下にある背景に思いを巡らせること。すなわち、5つの前提条件を念頭に、これまでの組織のあり方や活動内容を振り返ってみることが今、一番必要なことなのではないか、との思いに至った。

●おわりに

前号でも触れたが、私が所属する自治会も加入者の減少、担い手不足、負担感の増加という課題に直面している。出来ることは限られているが、自治会だよりを工夫したり、準役員制度を設けてみたり、子どもや高齢者に満足してもらえるような事業を企画

■福岡市共創によるコミュニティづくりイメージ
出所 福岡市 HP



したりと、出来ることから「やってみよう」と取り組んでいる。

貞清さんは、最後にこれからの協議会の活動や運営で考えたいこととして、①組織の運営(次世代の役員の育成、仕事と両立できる体制、業務の見える化・情報共有)、②住民の交流(多世代交流、居場所づくり、子どもから高齢者まで誰もが参加)、③つながる(小中学校や高校、大学、企業、NPO等との連携・協力)、という3つを挙げられた。機会があれば、これら3つにまつわる色々な地域での工夫について話し合う場を作りたいと思う。

(やまさき ひろゆき)

皆様から寄せられた「よかネット」
へのご意見、近況などの紹介
(敬称略)

※ハガキを頂いた時点での内容です。

■現在、鳥取県倉吉市、愛知県知多郡阿久比町の農と食の町づくりのアドバイザーで参加しています。これまでの地域の食のテキスト化ワークショップが大きく評価されたものです。

(東京都品川区 金丸 弘美)

■地域づくりに大変参考になっています。ありがとうございます。(山口県阿武町 白松 博之)

■いつも貴重な資料をお送りいただきありがとうございます。工場で大型設備投資(自動化)を行い、そのお披露目として、工場見学を来月6/6、7の2日間行います。是非ご来場下さい。

(筑紫野市 田名部 徹朗)

■コロナ禍も落ち着き、テレワークが少なくなると思いきや、ピッタリはまって人間関係も上手く機能しています。歳と共に生き方、考え方も変わりますので、同じ形態では仕事は出来ませんね。情報や社会のシステムに振り廻されながら、幸せというものが何かを考えるこの頃です。

(福岡市 深沢 栄太郎)

■「よかネット」いつもありがとうございます。毎号、楽しみにしています。コミュニティ、ネットワーク、防災、持続可能性、マネジメント、DX・・・とまちづくりを取り巻く環境は変化し、創造的で楽しい適応が求められていると思います。今後とも地域に根を張り、未来に翼を広げる取組を大いに期待しています。

(糸島市 坂口 光一)

■薩摩街道(西海道)シンポが鹿児島市で開催された際の熊本県(肥後)の報告者として担当して以来20年近く拝読させて頂いています。この間、地域振興の実践例、編集者の活動、地域分析等、多岐に及ぶ取組に深く敬服します。御活動を常に支持しています。

(熊本市 青木 勝士)

■この3月末をもって57年の長きにわたる勤務を終えました。今は毎日が日曜日でのんびりすごしています。

(千葉市 播間 良彦)

■要介護度状態となって6年。週4回通所リハビリに行っております。家庭菜園は、腰が悪いため、妻や知人に頼っています。

(北九州市 丸山野 美次)

■いつもよかネットの送付有難うございます。トップの「地名ブランドはどこまでか」興味深く読ませて頂きました。「賃貸住宅」の名称ということで大濠が275件と多いのもうなずけます。築年から、博多から天神へシフトしているもの面白いですね。

(佐賀市 福田 勝法)

■興味深い記事ありがとうございます。専門の交通以外の周辺分野のことも幅広く知れるので重宝しております。

(大分市 大井 尚司)

■毎度有難う御座います。参考にさせていただいています。

(佐賀市 吉川 笛浦)

- ご恵送誠にありがとうございます。豊岡市役所を退職後、市立豊岡公民館（現コミュニティ）に勤務。今回の山田龍雄先生、又北但大震災から100年（5/23）を迎え、同先生の記事興味深く拝読しました。（豊岡市 金子 輝雄）
- 私も自治会長を引き受けて4年目に入り気がついた事は、役員の成り手がいないのではなく、長く勤めている人がそうした雰囲気を作っているところもあります。慣れた人が滔々と挨拶する、取りしきると自分にはとても出来ないと思ってしまう人も出てくる。変わる人がいないと永々と続ける事が良いのではなく新陳代謝する努力をしてこなかったと反省すべきだろうと自分に言い聞かせています。（福岡市 西岡 弘）
- 「よかネット」楽しく読ませてもらってます。時折昔から知っている地域の情報が載せてあり、なつかしい思いがしています。皆様の御健勝、御活躍をお祈りしています。（飯塚市 小路 芳晴）
- 昨秋家族に不幸があり、今年に入り自分に病気が見つかり、骨折もする等、凶事が続いています。外を見ても、経済、社会、政治 etc の混迷がひどいです。僕は一昨年、知人への手紙の中で、これから人類は幾度か経験した大量死の時代～14世紀前後のヨーロッパ封建制の危機の時代、17世紀の宗教戦争の時代、20世紀の二つの世界大戦～へ向かうのではないかと思う旨のことを書きました。社会の分断や政治の専制化等、その感を深める今日この頃です。（福岡市 江上 徹）
- 「よかネット」の1頁目、データで読み解くまちづくりのギモンのファンです。視点がとても良い。提示されるカラフルなデータ、地図情報がとても興味深い。これまでの連載をまとめて冊子にしてもおもしろそうだと思います。（長崎市 鮫島 和夫）
- いつも御送付ありがとうございます。当方1985年4月に操業して丸40年です。我ながらですー。（宗像市 尾崎 浩文）
- 毎回、興味深く拝見しております。他では、な

かなか見られない着想、しっかりとしたデータに基づく分析に感心します。これからも、期待しています！（東京都北区 大竹 亮）

- 札幌中心部で“札幌型公民連携プラットフォーム”の準備会を立ち上げました。（広島都心会議と連携しつつ）メンバーで“よかネット”を拝読しております。（札幌市 小林 英嗣）
- 今回のよかネットの記事でも「居場所づくり」の問題が取りあげられていましたが、私の住んでいる団地でも有志が中心になって空家になった民家を借りて、公共団体の力を借りず一度は立ち上げましたが、結局続かなかったのですが、「個族化社会のネットワーク」難しい問題だと思いました。（高槻市 日野 博彦）
- ChatGPT出現以降、AI系ソフトの進化が加速しているように見受けられます。BigSightの展示会等見ていると、ソフトの進化は目覚ましいものです。一方、我々の目に見えない所ですが、日本のAI関連投資は米国より2桁少ないそうです。この分野で置いてゆかれない為にも、国として先見の明ある対応をしてほしい所です。（東京都世田谷区 寺島 清）

近 況

総 人生初の万博～空飛ぶクルマの未来を思う

6月28日研修旅行で大阪・関西万博に行きました。

● 過去～現在

テレビで55年前（1970年）の大阪万博の電気通信館で携帯型無線電話機「ワイヤレステレホン」が展示されていたことを知りました。

私が初めて携帯電話を買った時は、まだ電話の機能しかなかった記憶があります。そこからメールやインターネットができるようになり、カメラが付いて写真や動画が撮れるようになり、今ではスマートフォンが主流になり、進化してきました。55年前の当時の人に「55年後こうなってますよ」と今の携帯をみせたらビックリするだろうなと思いました。

今回万博に行くにあたって、55年前の携帯電話のように、これから50年、100年後に進化していくよ

うな物の「始まり」になりそうな展示があれば見てみたいと思っていました。

●現在～未来

実用化しそうな物だと思ったのと、飛行機好きということもあり、空飛ぶクルマは是非見に行こうと決めていました。

空飛ぶクルマの展示場所は、会場真ん中あたりの「空飛ぶクルマステーション」と会場北西部の一番端の「モビリティエクスペリエンス」の2カ所にありましたが、「空飛ぶクルマステーション」は予約が要る（一部は自由入場）ので「モビリティエクスペリエンス」に行き、係の方に少しお話を聞きました。

こちらに展示されていたのは、アメリカのLIFT AIRCRAFT社の1人乗りのもので、全体の重さは200kgちょっとしかなく、プロペラが18個ついており、飛ぶ時には各プロペラの下にバッテリーをつけ、フル充電で約25km飛べるそうです。ただ4月のデモ飛行中にプロペラ付近が破損し、その影響で運航を中止しているとのことでした。（7/12に運航を再開しています）

今後展示される機体は、日本のスカイドライブ社の3人乗りのものなど、交代していく予定とのことでした。

当然のことですが、安全は第一だし、クリアしないといけない課題は山ほどあるのだらうと思います。

今はドローンやヘリコプターに近い形態でも、何百年何千年先にはスターウォーズに出てくるような乗り物（最近映画を観たので影響を受けてます）になっているかもしれないという期待もあり、その時には現在の空飛ぶクルマが「始まり」になるのだらうと思いました。

●個人の方々のサポート？

当日の予定が入場時間12:00で帰りが16:00頃だったので滞在時間を考えるとパビリオンには行けて1～2箇所ぐらいかなと思っていました。

パビリオンは予約（抽選）しないと入れない所や、並べば入れる所など混在していて分かりにくく、どこに行こうか調べていると、個人の方でオフィシャルの地図に「予約の要不要」を記載したものをXに投稿している方がいました。しかも個人使用の範囲であ



アメリカ LIFT AIRCRAFT 社の空飛ぶクルマ

れば自由に使用していいという親切さ。

さらに調べていると、他の方々が「ビールマップ」や「コーヒーマップ」、「アイスマップ」や「休憩所情報マップ」と、オフィシャルには無いけれどあったら嬉しいマップを作ってくれていました。

何回も通って調べたと思われる内容をネットに投稿して、他の人の参考になればと自由に使わせてくれる優しい人たちがいることを嬉しく思いました。

私は「ビールマップ」を参考にさせていただき、お土産用に海外のビールを数本購入しました。

今回初めて万博に行きましたが、花火ショーの日程と重なり、関係者を除く一般来場者数が18万4990人と8月2日までの時点で過去最高となった結果、入場に1時間並び、当初の滞在時間4時間の予定が3時間に減り、あまり並ばずに入ると言われていたパビリオンにも行列が出来ていました。また、梅雨のはずがすこぶる晴天で真夏日となり、結果思うように見て回ることができなかったのは心残りです。そして、一番の心残りは「ベルギー館に行ってチョコを買う」ことをすっかり忘れてしまっていたことです。

（佐伯 明日香）

📌 Google マップにおける大阪万博内の各パビリオンへの投稿集積と評価

Google マップ上で、大阪万博会場の中心点から半径300m以内に位置する円を描くと、大屋根リングがすっぽりと収まる円を描くことができる。

8月1日に、上記の円の中においてGoogle マップ上で「パビリオン」と検索すると52施設がヒットした。

■パビリオン別・投稿言語別の口コミ投稿数及び評価点

| NO | パビリオン名 | 全体 | | 日本語 | | 英語 | | 東アジア | | 欧州 | |
|----|-----------------|-------|-----|-------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| | | 投稿数 | 評価点 | 投稿数 | 評価点 | 投稿数 | 評価点 | 投稿数 | 評価点 | 投稿数 | 評価点 |
| | 合計 | 8,830 | 4.1 | 4,214 | 4.1 | 996 | 3.9 | 403 | 4.2 | 349 | 3.6 |
| 1 | 英国パビリオン | 556 | 4.2 | 219 | 4.2 | 40 | 3.5 | 3 | 3.0 | 1 | 1.0 |
| 2 | フランスパビリオン | 453 | 4.4 | 213 | 4.5 | 59 | 4.3 | 25 | 4.5 | 34 | 4.4 |
| 3 | チェコパビリオン | 443 | 4.1 | 227 | 4.3 | 50 | 3.9 | 2 | 5.0 | 51 | 2.5 |
| 4 | ルーマニアパビリオン | 414 | 4.6 | 139 | 4.6 | 54 | 4.5 | 3 | 3.3 | 12 | 3.8 |
| 5 | TECH WORLDパビリオン | 355 | 4.6 | 80 | 4.6 | 45 | 4.3 | 112 | 4.5 | 3 | 3.7 |
| 6 | 米国パビリオン | 353 | 3.4 | 164 | 3.8 | 65 | 2.4 | 19 | 3.8 | 11 | 2.5 |
| 7 | サウジアラビア パビリオン | 284 | 4.4 | 136 | 4.3 | 38 | 4.8 | 7 | 4.0 | 7 | 4.0 |
| 8 | 関西パビリオン | 276 | 3.6 | 156 | 3.5 | 26 | 3.1 | 18 | 4.0 | | |
| 9 | ハンガリー パビリオン | 271 | 4.6 | 96 | 4.6 | 27 | 4.6 | 3 | 5.0 | 21 | 4.7 |
| 10 | イタリア・バチカンパビリオン | 267 | 4.1 | 172 | 4.2 | 23 | 3.0 | 8 | 3.5 | 7 | 2.1 |
| 11 | 中国パビリオン | 263 | 4.2 | 128 | 4.2 | 30 | 3.9 | 17 | 4.2 | 10 | 4.3 |
| 12 | ドイツパビリオン | 260 | 4.2 | 118 | 4.3 | 23 | 4.1 | 10 | 4.7 | 33 | 3.3 |
| 13 | クウェートパビリオン | 257 | 4.5 | 111 | 4.4 | 35 | 4.5 | 7 | 4.7 | 3 | 3.7 |
| 14 | オーストラリアパビリオン | 232 | 4.0 | 122 | 4.0 | 27 | 3.8 | 10 | 4.4 | 8 | 3.6 |
| 15 | ポーランドパビリオン | 211 | 4.5 | 71 | 4.3 | 35 | 4.6 | 6 | 4.7 | 21 | 4.7 |
| 16 | アラブ首長国連邦 パビリオン | 202 | 4.1 | 99 | 4.2 | 27 | 3.9 | 8 | 4.9 | 5 | 3.6 |
| 17 | インドネシア パビリオン | 196 | 4.6 | 86 | 4.6 | 33 | 4.7 | 5 | 5.0 | 2 | 5.0 |
| 18 | トルクメニスタンパビリオン | 191 | 4.2 | 123 | 4.3 | 16 | 3.8 | 2 | 1.5 | 6 | 4.0 |
| 19 | 大阪ヘルスケアパビリオン | 187 | 4.4 | 110 | 4.4 | 12 | 4.2 | 13 | 4.5 | 1 | 5.0 |
| 20 | いのちの未来 パビリオン | 181 | 4.4 | 99 | 4.4 | 13 | 4.2 | 18 | 4.7 | 5 | 3.2 |

■評価点が高いパビリオンへの高評価の要因

| パビリオン名 | 高評価の要因 |
|------------------|------------------------------------|
| ルーマニアパビリオン | ロウを使ったペンダントづくりのワークショップと、生演奏・生歌 |
| TECH WORLD パビリオン | 台湾の先進的な半導体技術の解説や、スマートデバイスの装着体験 |
| ハンガリー パビリオン | 鈴蘭の香りが漂うなか、女性による伝統民謡の生歌パフォーマンス |
| インドネシア パビリオン | 並ぶ時間は短いですが、スタッフの女性が盛り上げ上手、コーヒー試飲あり |

そこで、この52のパビリオンについて、Googleマップ上のユーザーからの投稿を全て（総計8,830件）収集し、集計を行った。

●パビリオン別の投稿数上位5位

最も投稿数が多いのは「英国パビリオン」で投稿数は556件。以下、投稿数はフランスパビリオン（453件）、チェコパビリオン（443件）、ルーマニアパビリオン（414件）と続き、欧州のパビリオンへの投稿数が多い。続いて5番目に多いのは「TECH WORLDパビリオン」であり、このパビリオンは台湾の最新技術を発信するパビリオンである。

●パビリオン別の評価点とその理由

全投稿における評価点の平均値は4.1点で、評価点の平均値が高いパビリオンは、「ルーマニアパビリオン」「TECH WORLDパビリオン」「ハンガリーパビリオン」「インドネシアパビリオン」の4.6点であった。

その要因を探るために各コメントを見ると、「ルーマニアパビリオン」と「ハンガリーパビリオン」は、母国の民謡の生歌・生演奏への評価が高い。

また、「インドネシアパビリオン」は「スタッフのテンションが高く、盛り上げてくれる」といったコメントが並んでおり、これらの施設においては生身の人間のもてなしや演奏が高評価の要因となっている。

一方、「TECH WORLDパビリオン」では、半導体の先端技術や、ウェアラブルセンサーの着用体験など、提供されるサービス・展示の技術への評価が高い。

●パビリオン別・投稿言語

投稿全体の8,830件のうち、何らかの言語が付与されている投稿は6,006件で、そのうち日本語が4,214件と7割を占める。外国語は1,792件と、言語判定できた投稿の約3割であった。外国語の内訳は英語が996件、東アジア系の言語が403件、欧州言語が349件など、アジア系よりも欧米豪系の言語が多い。

また、評価点は日本語や東アジアが高く、欧州言語での評価は全体的に低い。

欧州系言語の1点、2点の投稿を見ると、「長い時間並んで入ったにもかかわらず、展示内容が充実

していない・食事が高い」といったコスト（時間、金額）パフォーマンスに敏感であるようだ。

今後、来訪をお考えの方の参考になればと思う。
（原 啓介）

熱 近そうで遠い大阪万博

我々が研修で万博を訪れたのは、2025年6月28日土曜日。天気は快晴で、気温は30℃を超える茹だるような暑い日でした。

12時からの入場チケットを手に、最寄り駅の夢洲に到着したのが、11時45分ごろ。東ゲートからの入場でした。電車を降りてからも、人の波ではあったのですが、駅構内から出て目の当たりにしたのは、人の山・・・ではなく、日傘の山でした。

多少の覚悟はしていたとはいえ、この光景は、なかなか我々の心を折られました。後々知ったのですが、この日は、万博会場で大曲の花火が打ち上げられる日で、当時、過去最高の入場者数（公式発表で202,819人、佐賀市よりやや少ないくらいの人々が訪れていたということ！）を記録し、深夜まで移動手段が確保できない人がいたことがニュースにもなるような日でした（我々は花火前に帰ったので、問題はなかったのですが）。

11時45分に最後尾に並び、入場ができる12時までその場に待機。12時になると少しずつ列が進み始めました。

夢洲駅から入場ゲートまでは、直線距離で150mほど。入場ゲートは目の前に見えています。しかしな

がら、ゲート前の広大な土地に蛇行するように動線が設定されているため、進めども進めども、到着せず。後でスマートフォンの距離計を見返すと1km以上は歩いていたようです。道中にはところどころ冷風扇はおいてあるものの、日陰もなく、ほぼ何も対策をしていない中、結果的には1時間半ほどかかり、ようやく入場したのです。今思い返すと、本当に熱中症にならなくてよかった。

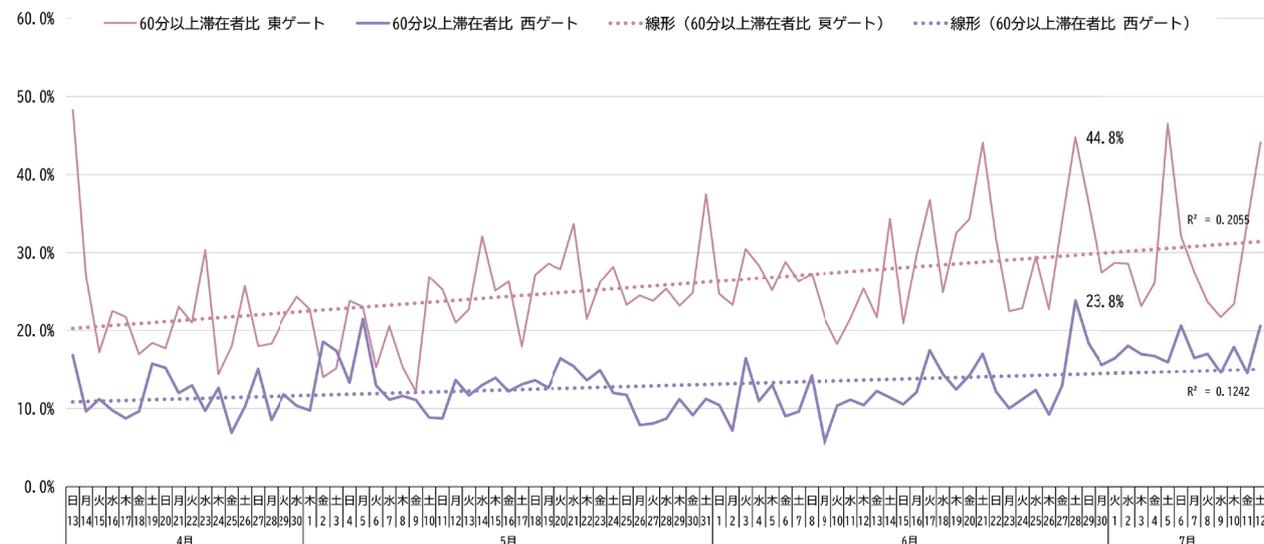
さて、この入場ゲートの混雑に関しては、ニュースで取り上げられるほど、問題になっているようで、特に鉄道アクセスの東ゲートの混雑が激しいようです。掲載のグラフはKDDIのGPS人流ツールを用いて、東ゲートとシャトルバスなどの入り口である西ゲートにおいて、滞在時間0分を設定したときの人数と、滞在時間60分を設定したときの人数の比率を日別でグラフ化したものです。

厳密にはイコールではないでしょうが、おおむね60分以上入場までに時間を要した人の割合といえることができると思います。

これを見ると、オープン当日はさておき、やはりオープンから月日を経ることで60分以上かかった人の割合は伸びており、特に東ゲートはその傾向が顕著です。我々が訪れた6月28日は東ゲート44.8%、西ゲート23.8%といずれも最高値に近い水準でした。（西ゲートは帰宅者の可能性もありますが）

万博側でも従来は接続していなかった、両ゲートを会場外でつなぐなどの対策をしているようですが、

■入場までに60分以上要した人の割合の日別推移





入場まであと少しと思いきや、ここからさらに30分ほどかかる

それもおよそ2km歩く必要があるなど、なかなか悩ましい問題のようです。

いずれにせよ、今回の万博研修は、初動の遅れ、事前の対策不足であったことは、反省です。入場してしまえば、そこはやはりお祭り会場、3時間ほどの滞在でしたが、いつの間にか時間が過ぎ去っていました。本号が出るころは、まだ会期中ですので、悩んでいる方は、ぜひ来場されることをお勧めします。その際には、十分な待ち時間対策をお忘れなく……。(櫻井 恵介)

総 芸人のプロの技を見た

私たちは、日々、「コミュニケーション」を大切にしています。そこで、人を惹きつける表現力や話の構成力を学ぶため、研修旅行の最終日になんばグラウンド花月の道を挟んだ対面にある、よしもと漫才劇場に行きました。初めてライブで漫才を見ましたが、観客の反応を見ながら、その場の流れで即興を入れて笑わせるプロの技を肌で感じました。そこでいくつか、身に付けたいと思ったことがあります。

1つ目は、私は、仕事も含めた日々の会話の中で、間違えた発言をしてしまった時に、慌ててしまい上手くフォローできず、周りに助けをもらうことが多いです。漫才の中では、ある芸人がセリフを間違えてしまいましたが、相方が上手く笑いに変えていました。自分の失敗を失敗で終わらせず、間違いをリカバリーできるユーモアを含んだ言葉を返せるように、また機転が利くようになりたいと思いました。

2つ目に、相手に伝わる説明です。漫才といえば、5分ほどの短い時間で情景を思い浮かべてもらい、笑

いのオチまで持っていかなければなりません。観客と演者との場面のイメージが食い違いや、わからないことがあると、観客は笑いよりも、理解に意識を向けてしまい、純粹にお笑いを楽しむことができなくなります。業務においても、相手に伝わる説明ができているか、お互いに確認不足の中で話を進めていないかなど、相手との食い違いを未然に防ぐことが、伝わる説明の第1歩だと思います。

最後に、ストーリー作りです。漫才1組ごとに人を笑わせるために作られた渾身のストーリーがあります。私たちの仕事も、今まで受け継がれてきたまちの歴史や、人々の想いを基に、次に繋げる新しいストーリー作りにあると言えます。人の心を動かす文脈づくりは、漫才と似ていると感じました。

漫才は、表情や言葉の言い回し、テンポなど、すべてが計算された、人を笑わせるプロの技術が詰まった作品です。漫才の息づかいや空気感は生でしか味わえません。生で漫才を体験されたことのない方は、劇場に足を運んでみることをおすすめします。

(酒見 知里)

総 近所にシェアスペースができました

私が住んでいる香陵校区(東区香椎浜1丁目・4丁目)には、1991年(平成3年)に福岡地所と世界的建築家である磯崎新氏がプロデュースした国内外の有名建築家の設計によるマンション群(7棟)「ネクサスワールド」がある。各マンションには設計者の名前が付けられている。ネクサスワールドのマンション群には、デザインや校区の住環境を気に入って、建築やデザイン関係の人が住んでいる。

ネクサスワールドの一つにスティーブン・ホール棟があり、1階には学習塾やデザイン事務所が入っている。今年の2月に、ここで雑貨店を営んでいた店が閉店し、空き店舗となった。

その後、2023年にスティーブン・ホール棟に引っ越してきた井上浩平氏が、今年の7月初旬、この空き店舗にテナントとして入り、設計事務所(バウンダリーデザイン一級建築士事務所)兼シェアスペースにリフォームし、開設した。

井上氏は、香陵校区の住環境の維持・向上のために設立した「香陵校区まちづくり協議会」のメンバー



スティーブン・ホール棟の1階にできたシェアスペース

の一人でもある。

事務所の面積は約 30 坪、設計事務所として利用しているスペースは約 10 坪で、残り 20 坪はコーヒースタンド、コワーキングスペース、イベントスペースとなっている。

イベントスペースでは、8月に「まちづくり協議会」のメンバーである坂根茂氏（クラストベース香椎代表）による木製飛行機づくりワークショップ、BIM（建築設計のための最新ソフト）講座が開催されている。BIM 講座は定期的実施する予定である。井上氏は、イベントスペースで他に何か校区住民が集える自由な使い方ができないかと思案されている。

どの地域でも、公的な集会所だけではなく、住民が気楽に、自由に出入りできる場所が求められている。香陵校区でも、都市高速道路アイランド線の延伸計画があがったときに、高架下に生まれる空間に居場所づくりや広場ができないかと構想を練り、福岡市の担当課と協議したこともあったが、資金と維持管理の面で断念した経緯がある。

私としては、念願の校区内の新たな居場所、サードプレイスと思っている。まちづくり協議会でもバザーやマルシェなどができないかと妄想している。

ちなみに、コワーキングスペースは、コーヒー付きで 600 円 / 時間、最大 1,800 円の料金である。

私など、自宅ではなかなか集中して作業ができない者にとっては、ありがたい場所である。

興味のある方は、是非、スティーブン・ホール棟のバウンダリー事務所をお尋ねください。

但し、今のところ常駐している人がいないので、利



イベントスペース、ミニバザーやマルシェなど住民が集えるイベントを思案中

用したい人は、前もって下記にメールし、予約をしてからお出かけ下さい。

メールアドレス：alt_nw@icloud.com

（山田 龍雄）

✂ 猫好きの外国観光客が訪ねてくる喫茶店

～百貨蔵～

アクロス福岡の道向かいには、昭和レトロを漂わせた 10 数件の飲食店が並ぶ「水鏡天満宮横丁」がある。「喫茶・百貨蔵」は、この横丁の一角にある。

私はコロナ禍前の 2018 年頃に、大学の先輩の誘いで、気の合った者同志が集まり、ママや参加者の料理などを肴に、ただ放談・雑談を楽しむ「木曜会」なるものに参加し、初めて百貨蔵を知った。

百貨蔵は、2 階に 10 数人が集えるスペースがあり、英会話教室、俳句の会、ミニ同窓会など少人数の会が行われている。コロナ禍に「木曜会」は中止になり、私も会に参加することはなくなったが、今でも 1～2 週間に 1 度はランチ（予約必要）を食べにお邪魔する。

百貨蔵のママは、大の猫好きでお店に 3 頭の猫を飼っていたが、2 年前に 1 頭は行方不明、もう 1 頭は自宅で飼うようになり、今では 1 頭のみがお店で寝泊まりしている。名前は「チャーボー」、茶系のオス猫である。なかなかイケメンの猫である。時々散歩に出かけているので、運がよければチャーボーに会うことができる。

お店の異変に気付いたのは、半年前ぐらいである。私は 1～2 週間に 1 度の訪問であるが、行くたびに韓国の一人旅の女性、カップルなどが必ずカウ



ママに抱かれている
チャーボー

ンターに座って、ママと歓談しているのである。ママに聞くと「主に韓国の人が多いが、先週、カナダから猫好きの親子(母・娘)が来たのよ。最近、ほぼ毎日、猫好きの観光客が来ている。」という。猫好きの韓国の観光客からのSNS(インスタやグーグルレビュー等)によって「チャーボー」が拡散している

のである。
ママと観光客との会話は、スマホの翻訳機と片言日本語であり、ママも普通にお相手している。

高い広告料を出さなくても、今や一人の情報発信からお客さんが増えるという時代であるのを実感した次第である。チャーボーは、正に招き猫となっている。(山田 龍雄)

透明性の錯覚

甘やかされて育った子どもは、自分の感情や考えが相手に伝わっているという思い込みが強い人が多いと言われます。どういう甘やかし方だとそうなるのかは分かりませんが、「我がままな子どもや大人」に対して、甘やかされて育ったのだらうという判断や評価をする人は多いと思います。

この思い込みの強いことを「透明性の錯覚」というそうですが、コミュニケーションをとろうとする時に、そういう相手だった場合、これは結構やっかいなことになります。

ご存じのように我々の仕事では、人と会うこと、コミュニケーションをとりながら仕事を進めることは基本的なことです。つまり、相手とコミュニケーションをうまくとっていかないと仕事を進めにくいことになります。

コミュニケーションには会話をするだけでなく、議論をしたり、教えることや状況を聞くこと、さら

にアドバイスをすることなど、様々な場面があります。

そういう場面ごとに、相手を見ながら、考えながら、「どういう考えを持っている人か」、「自分はこういう風に思われているか」、「話をうまく伝えるにはどうすれば良いか」、「話はうまく伝わっているか」など、コミュニケーションをとる目的に応じて考え、模索しながら進めていく必要があります。そういう時に、「なぜ分かってくれないのか」とか「なぜ理解してもらえないのか」と思うこともありますが、その前に、「自分中心で考えてしまっていないか」、「自分は何を伝えたいのか」、という自分の内面の部分を調整すること、「透明性の錯覚」という認知バイアスを克服することがどんな仕事にも必要となります。

仕事の知識や業務分野の専門性を習得しておくことはもちろん重要ですが、先方とのコミュニケーションをうまくとることから仕事は始まります。コミュニケーションがうまくとれることで、仕事が進められると言っても過言ではありません。(山辺 眞一)

表紙解説

表紙では、大阪関西万博の開幕からこれまでの来訪状況について、平日・祝休日や天候、降水量等による相関関係について紹介しました。

GPS 人流調査ツールを用いた作図にあたり、下記の条件でデータ収集や分析を行いました。

【データ収集・分析条件】

- ・調査対象範囲：
万博会場全域（東ゲート・西ゲートを含む）
- ・データ収集期間：
2025年4月13日（万博開幕日）～8月16日
- ・「来訪者」の定義：
関係者を除き、調査対象範囲内に15分以上滞在した人
- ・「関係者」の定義：
関西地域（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県）在住で、直近1ヵ月の平日昼間の最頻滞在地在が万博会場・周辺である人

表紙の来訪者数は、データ収集期間内のGPSデータを基に集計された国内在住者ですが、統計処理による推計値となっています。また、インバウンドやスマートフォンを所持していないこども等の情報は把握されていないため、公式で発表されている来場者数とは一致しません。

●万博来訪者・リピーターはどこから来てる？

上記の分析条件で、来訪者・リピーターはどこから来ているのかみてみました。

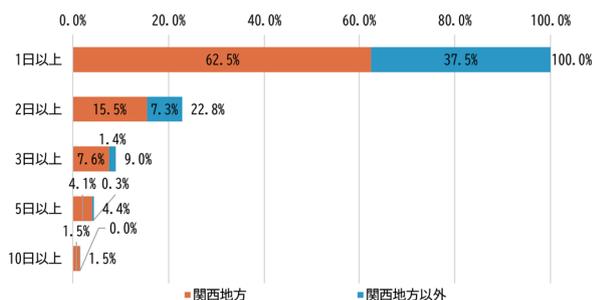
次の図は、開幕以降のリピーター状況及び来訪者居住地について整理したものです。対象期間内の来訪者を100%とした場合のリピーター客の来訪日数別の比率を示しています。期間内に2日以上来訪した人が22.8%、3日以上が9.0%であり、関西を中心にリピーターがあるものの、関西以外からのリピーターも7.3%と一定数いるようです。また、10日以上、月平均で2日以上来ているコアなりリピーターは1.5%となっています。万博に複数回入場可能な夏パス・通期パス(2025年8月17日販売終了、チケット販売開始(2023年11月30日)後から8月22日までの入場チケット販売総数の約3.5%を占める※)が販売されていたことから、万博会場近隣にお住まいの人が、それらのチケットを利用して定期的に来訪していることが考えられます。

万博終了後に、今回の内容も含め、次号でご紹介したいと思います。(益戸 亮平)

※出所：大阪・関西万博公式ホームページ
(2025年8月27日閲覧)

URL : <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20250825-02/>

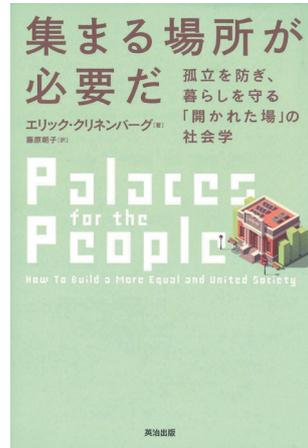
図 万博会場のリピーター日数及び居住地の関係



※対象期間内の来訪者(1日以上)を1.0とした場合のリピーター日数の比率及び居住割合を示す。

■ BOOKS

集まる場所が必要だ ~孤独を防ぎ、暮らしを守る「開かれた場」の社会学~



著者：
エリック・クリネンバーグ
(ニューヨーク大学社会学教授、パブリック・ナレッジ研究所所長)

訳者：藤原朝子
(学習院大学非常勤講師)

この本は、当初、千早ガーデン内の商業施設内に設けられた「まちライブラリー(※)」で借りたものである。

タイトルに興味をもって手に取ったわけだが、「序章 社会的インフラが命を救う」を読みだすと止まらなくなった。その記述は概ね以下のとおりである。

1995年7月にシカゴを襲った気温上昇の中で1週間の間に739人の死者がでた。この理由を探るため、著者を中心とした研究チームが組織された。この研究の中でアフリカ系アメリカ人が居住する同じような2つの地区(高齢化率、貧困率、失業率、犯罪率等)で、死亡率が大きく違っていた。A地区は10万人あたり33人に対し、B地区は3人であった。その違いはなんと地域の繋がりであった。つまり、地域で繋がりがあったB地区では昔から歩いてレストランや理髪店や食料雑貨店に通い、町内会や教会の活動に参加し、近隣住民の知り合い率が高い地区であったことから、熱波のときに高齢者や弱者の家を訪ねたりし、発見が早く、死亡者減につながった

結果的には当たり前の話ではあるが、これを客観的に分析した内容に感心し、全部読んでみようと思った。

期限の2週間では読めず、改めて購入して、最後まで読んでみた。

アメリカ社会では収入の格差、貧困層地区の存在、移民問題等、地域の分裂を生む要素が日本より

多く、これらの分裂や地域の結びつきを強めるには、社会的インフラ（図書館や公園、遊び場、学校、運動場、市民農園など集団生活を条件づける物理的な場）が必要と著者は説く。

この本は8章で構成され、どの章とも社会的インフラの具体的な事例とその効果を分析しており、読み応えがある。

また著者は、欧米の社会学者がこれまで研究してきた社会的インフラの効果を紐解き、過去の研究や政策の成功例や失敗例を解説している。

「第1章 図書館という宮殿」では、ニューヨークの最貧困地区にある図書館内のコミュニティールームが演劇、英語教室、アトリエ、バーチャルポーリングなどを通して交流の場となっており、特に一人暮らしの高齢者は、図書館で遊び、交流することで社会的ネットワークを取り戻している例が紹介されている。図書館は運営の仕方によっては、地域の居場所、社会的インフラになることを具体的に説明している。一方で、ニューヨークの6つの支部図書館が改修費に6億ドルを要することから一部の図書館を売却する動きがでており、貴重な社会的インフラである図書館が閉鎖している動きに対して、著者は警鐘を鳴らしている。

「終章 宮殿を守る」では、シカゴ市において、これまで人種分断的な活動の象徴であったといわれていた警察署に理髪店、カフェ、レストラン、市民農園、公園、無線LANを備えたコミュニティラウンジを併設する構想が立ち上がっており、この構想には、周辺の市も関心を示していると言う。このような柔軟な発想もなかなか面白い。

著者は、最近のSNS等のバーチャルなネットワークとリアルな交流の場とを上手く組み合わせることが大切であると言う。

社会的インフラ、居場所づくりなどに興味のある方にはお薦めの本である。

序章 社会的にインフラが命を救う

第1章 図書館という宮殿

第2章 犯罪を減らすインフラ

第3章 学びを促すインフラ

第4章 健康なコミュニティ

第5章 違いを忘れられる場所

第6章 次の嵐がくる前に

終章 宮殿を守る

※まちライブラリーとは

いつでも誰でもどこでも始めることができる、「本」を通じて「人」と出会うまちの図書館です。個人や団体が、自宅や店舗、病院、学校などの一角に本棚を設置して本の貸し借りなどを行う場として全国に広がり、今では図書館や公共施設、商業施設、サービス付き高齢者住宅などにも広がっています。多様な人たちがそれぞれの想いをもちて展開する活動になっています。

（まちライブラリー HP より）

まちライブラリーでは、本を読んだら、巻末にあるメモ用紙に感想を書くのがルールとなっている。千早ガーデン内の「まちライブラリー」は、設立して1年ぐらいなので、まだイベント参加の呼びかけはないが、参加の呼びかけがあれば、是非、本好きの人と語り合ってみようと思う。（山田 龍雄）

編集後記

今夏も暑さが連日厳しいので、早く涼しくなってほしいものです。（益）

自治会役員として、如何に会員になっていただくか、役員になっていただくかを日々、検討していますが、妙案は浮かばず。ひとまず、出来ることから、ぼちぼち取り組んでいきたいと思っています。（裕）

よかネット No. 158 2025.9

（編集・発行）

（株）よかネット

〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3番8号
福岡パールビル8階

TEL 092-283-2121 FAX 092-283-2128

<http://www.yokanet.com>

mail:info@yokanet.com

（ネットワーク会社）

（株）地域計画建築研究所

本社 京都事務所 TEL 075-221-5132

大阪事務所 TEL 06-6205-3600

東京事務所 TEL 03-5244-5132

名古屋事務所 TEL 052-462-1030